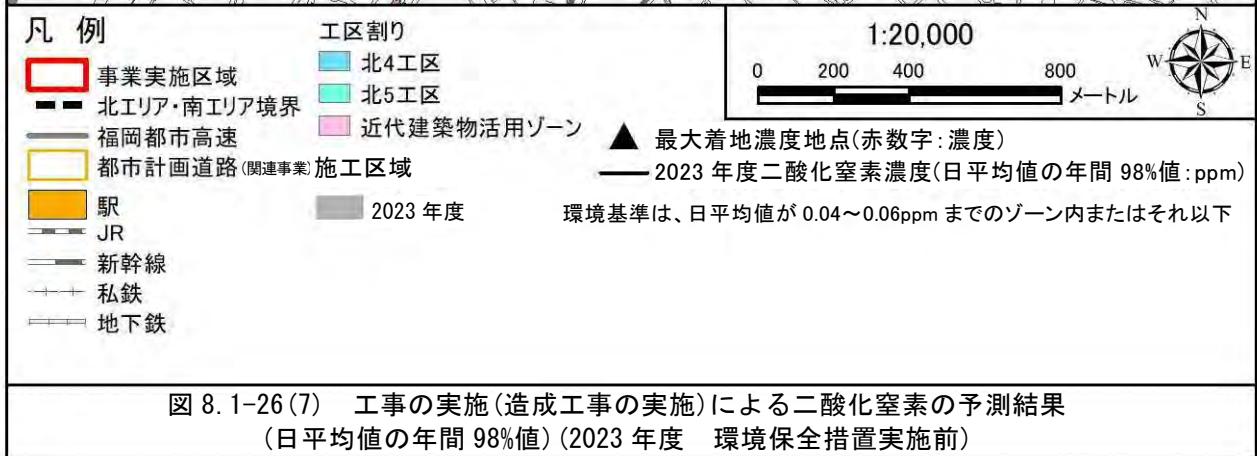
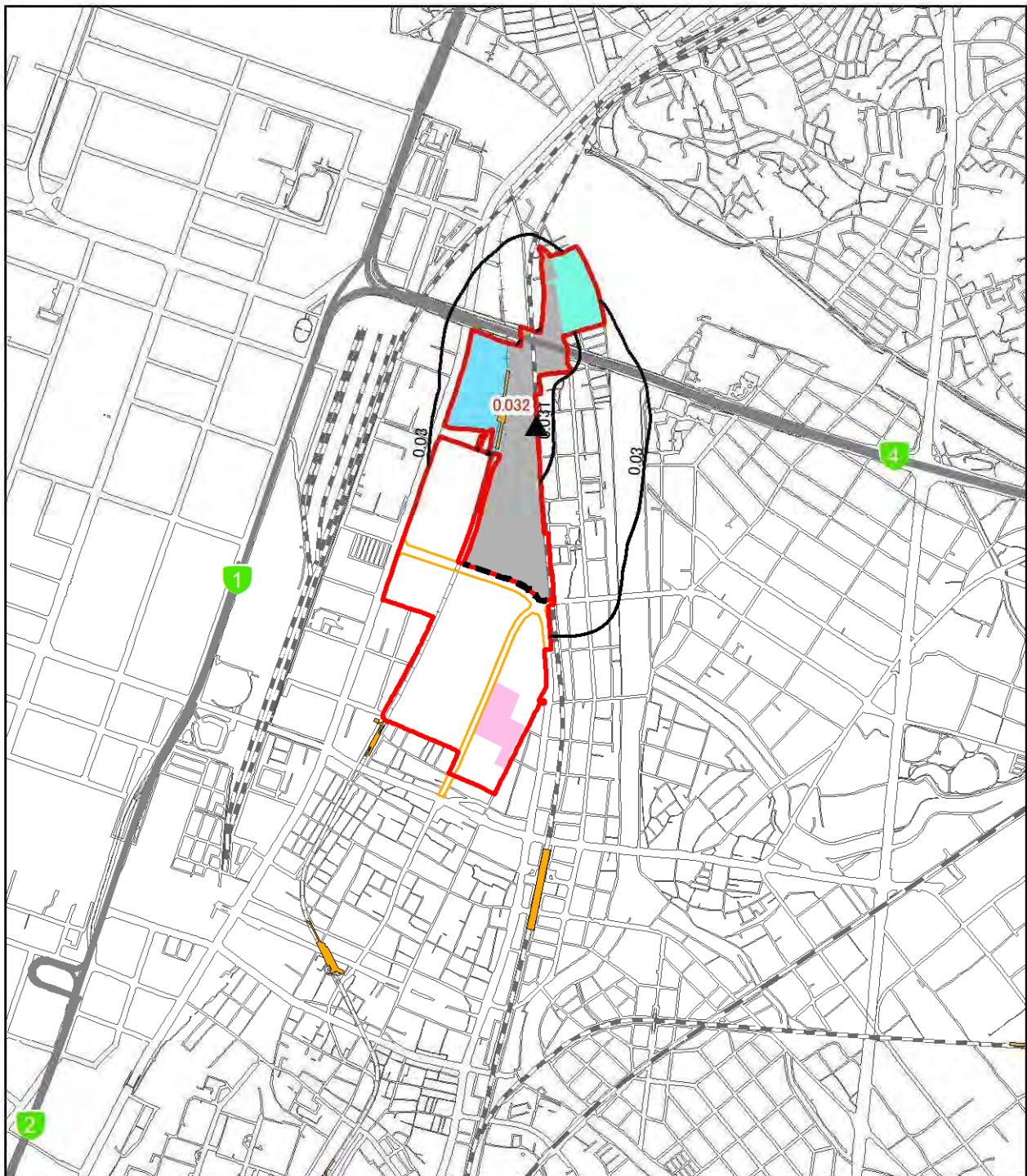
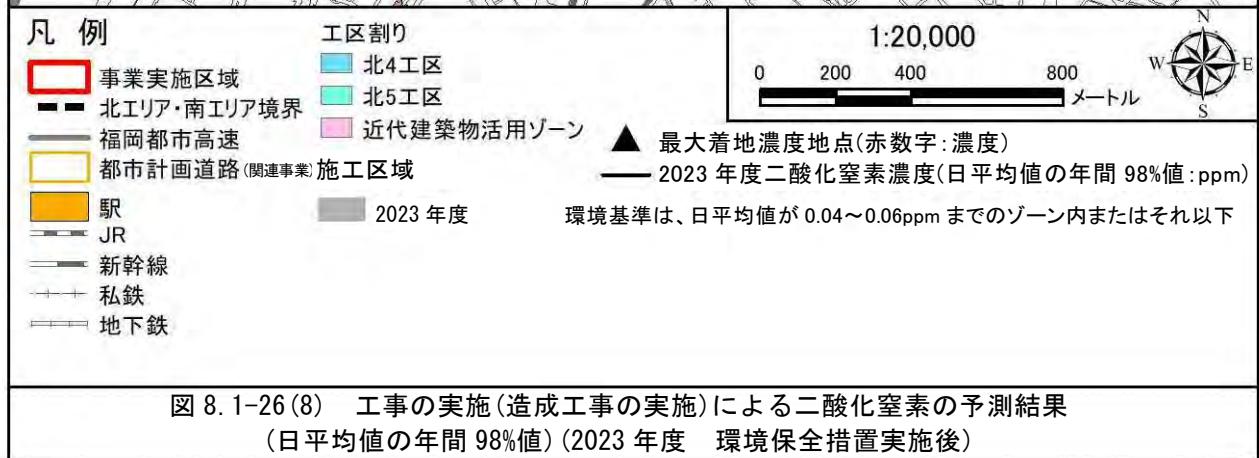
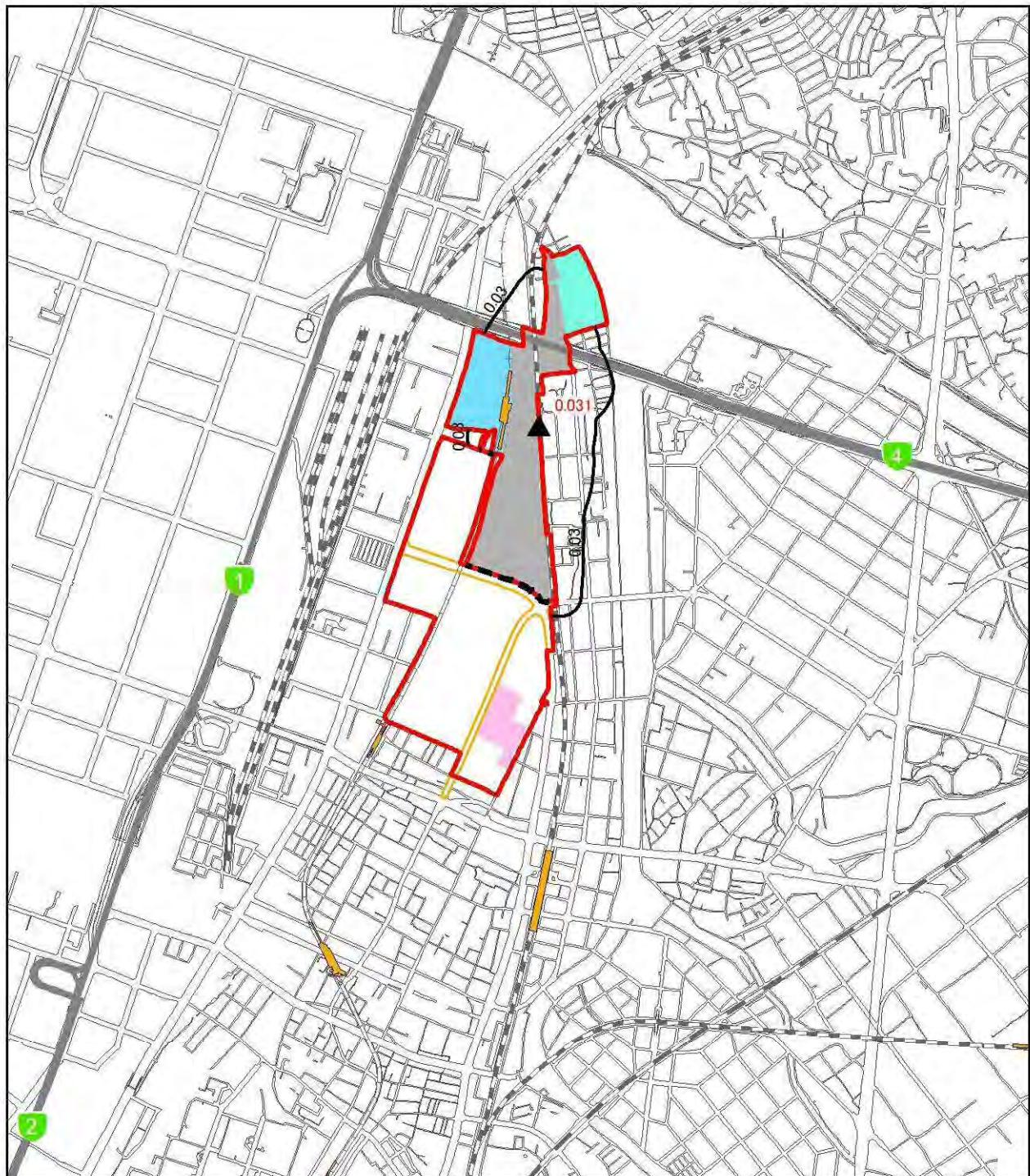
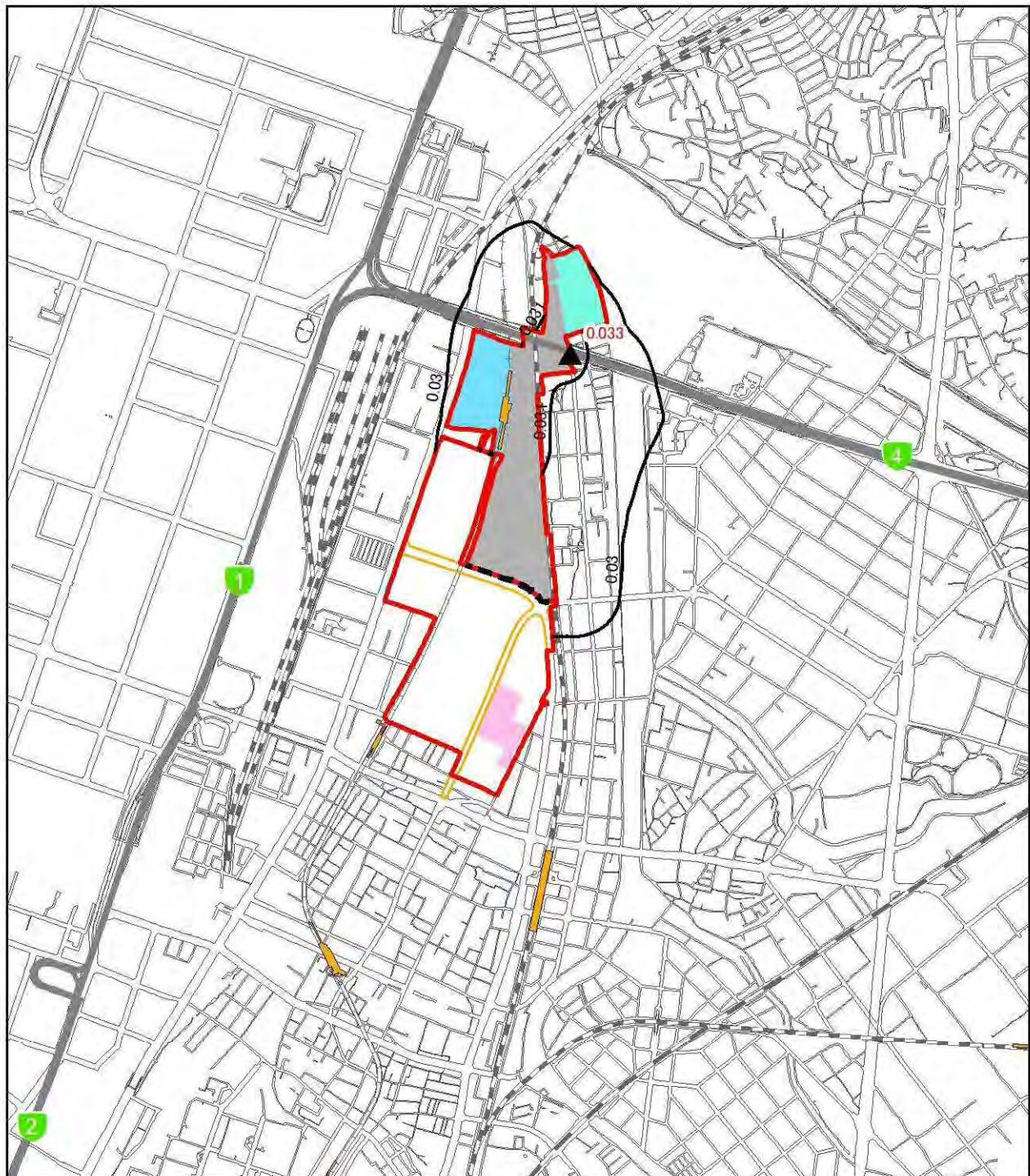


凡 例	工区割り	1:20,000
■ 事業実施区域	■ 北3工区	
--- 北エリア・南エリア境界	■ 北4工区	
福岡都市高速	■ 北5工区	
■ 都市計画道路(関連事業)	▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)	
■ 駅	— 2022年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)	
■ JR		0 200 400 800 メートル
■ 新幹線		
■ 私鉄		
■ 地下鉄		
	施工区域	環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下
	■ 2022年度	
	その他の、	
	南1~3工区で	
	関連事業実施中。	

図 8.1-26(6) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間98%値)(2022年度 環境保全措置実施後)







凡 例

- 事業実施区域
- - 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

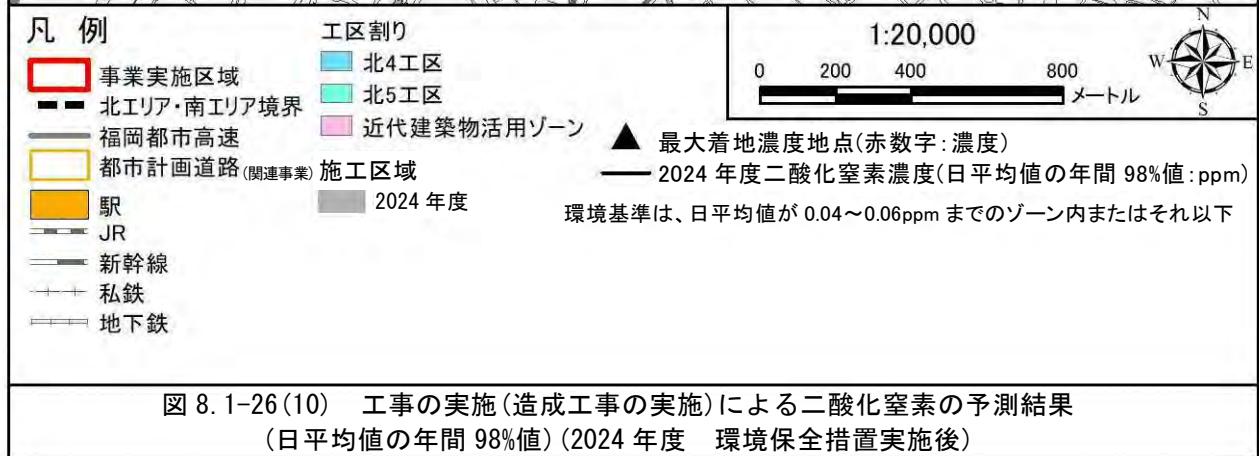
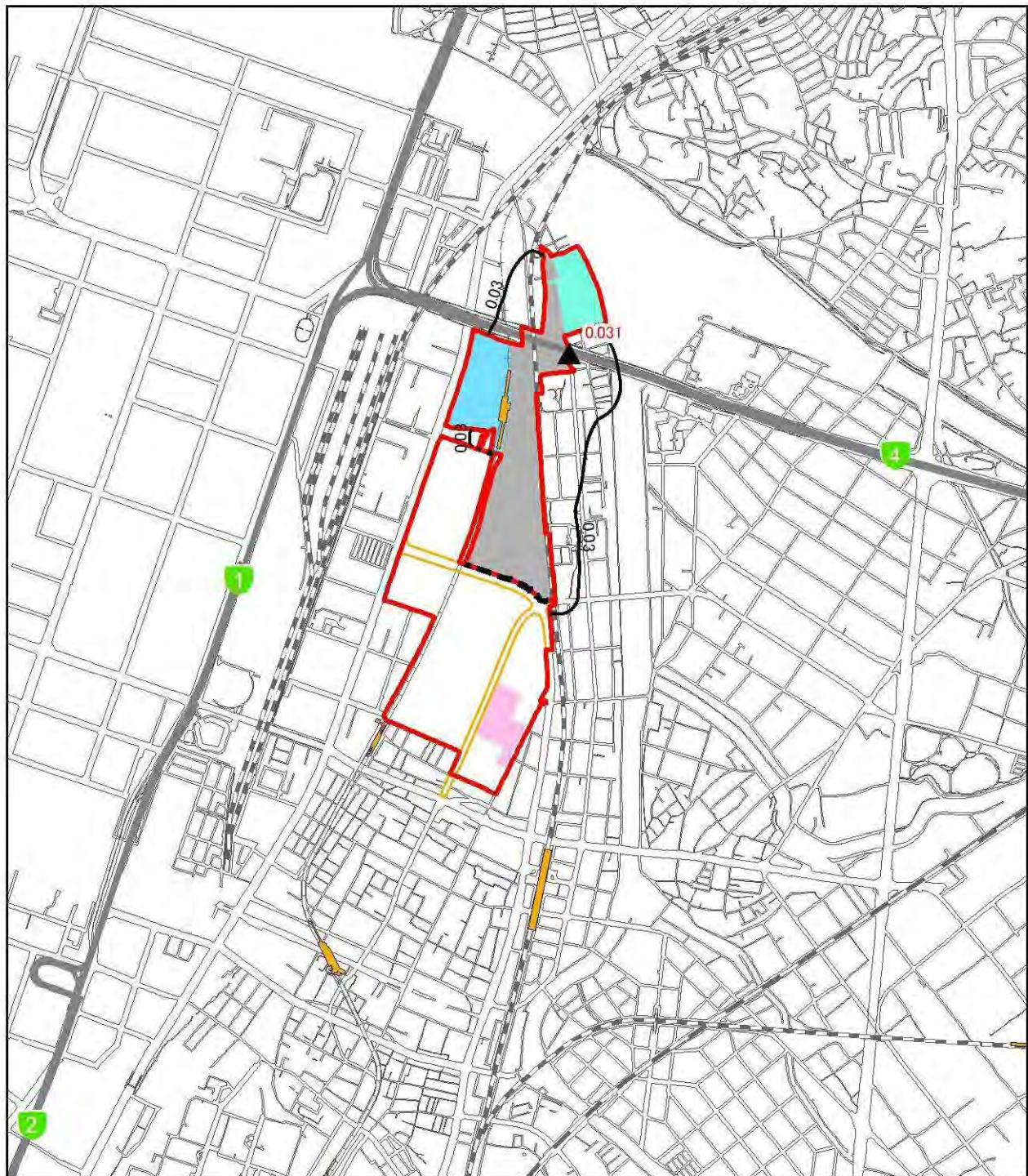
- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

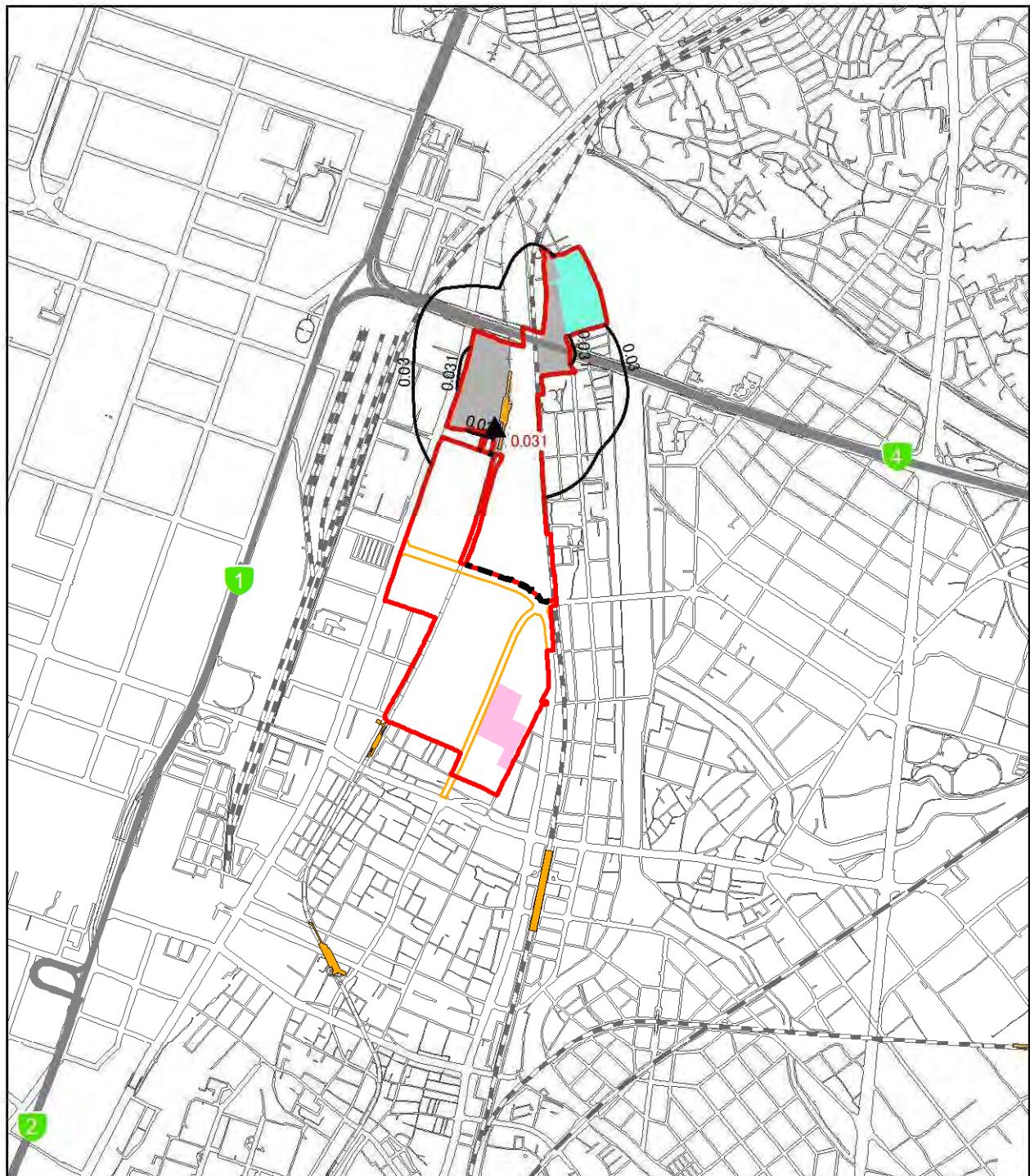
施工区域

2024 年度

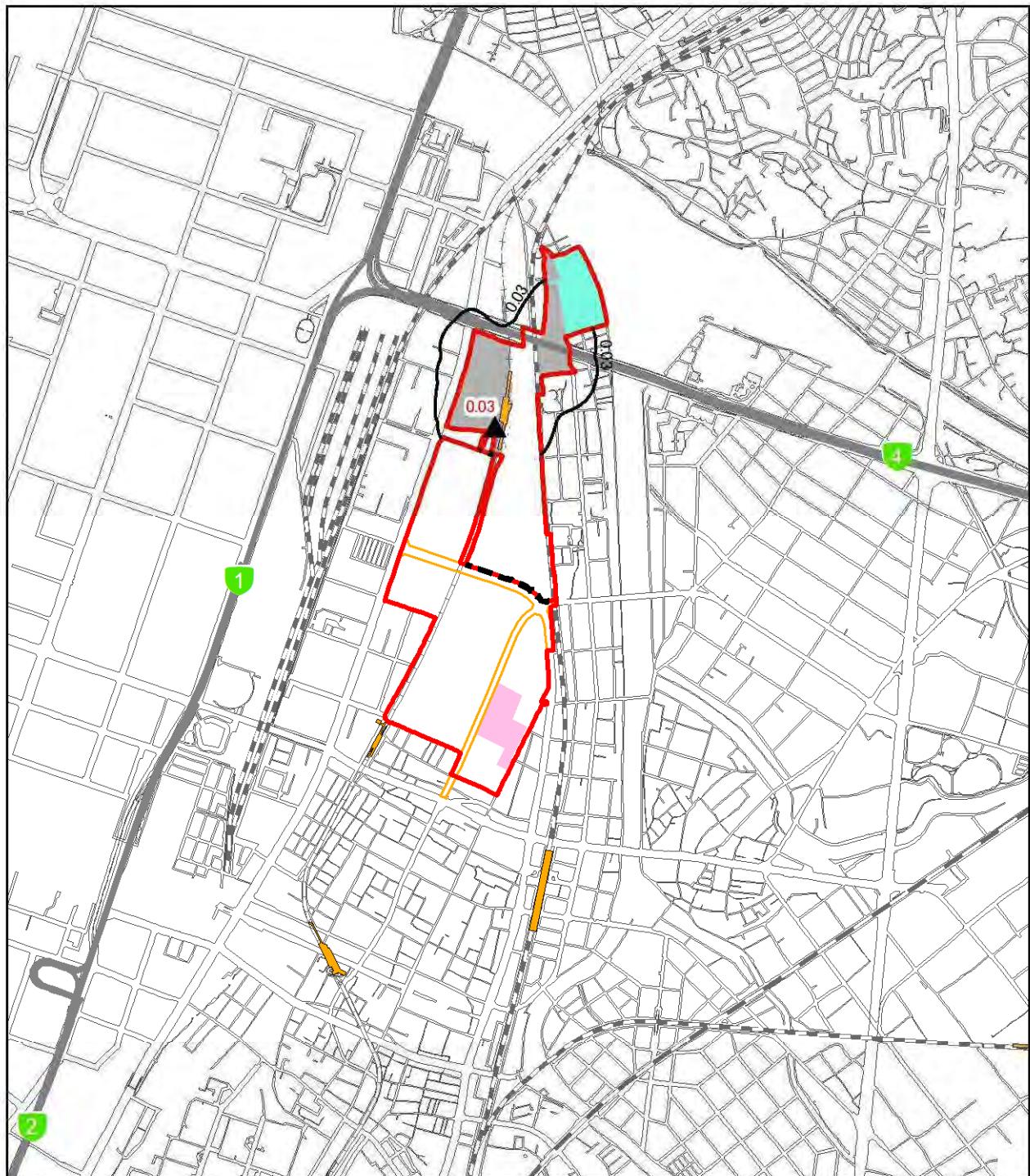
1:20,000
N
E
W
S
0 200 400 800 メートル
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
— 2024 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98% 値: ppm)
環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(9) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間 98% 値)(2024 年度 環境保全措置実施前)





凡 例	工区割り	1:20,000
■ 事業実施区域	■ 北5工区	
--- 北エリア・南エリア境界	■ 近代建築物活用ゾーン	
--- 福岡都市高速	施工区域	
■ 都市計画道路(関連事業)		▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
■ 駅		— 2025 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98% 値: ppm)
■ JR		
■ 新幹線		環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下
--- 私鉄		
■ 地下鉄		
図 8.1-26(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果 (日平均値の年間 98% 値)(2025 年度 環境保全措置実施前)		



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

2025 年度

1:20,000
0 200 400 800 メートル

▲ 最大着地濃度地点(赤数字: 濃度)
— 2025 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98% 値: ppm)

環境基準は、日平均値が 0.04~0.06 ppm までのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(12) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間 98% 値)(2025 年度 環境保全措置実施後)

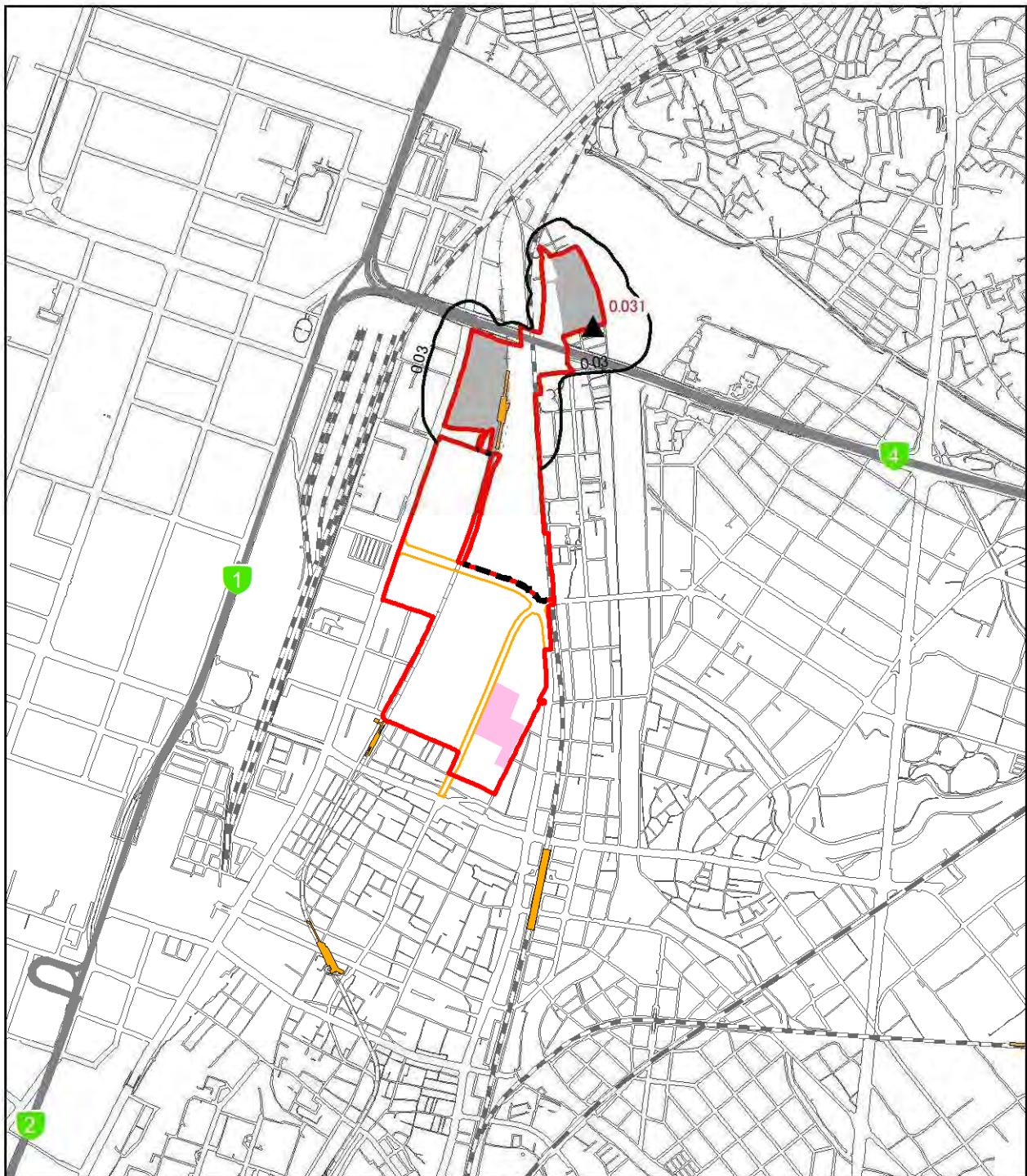
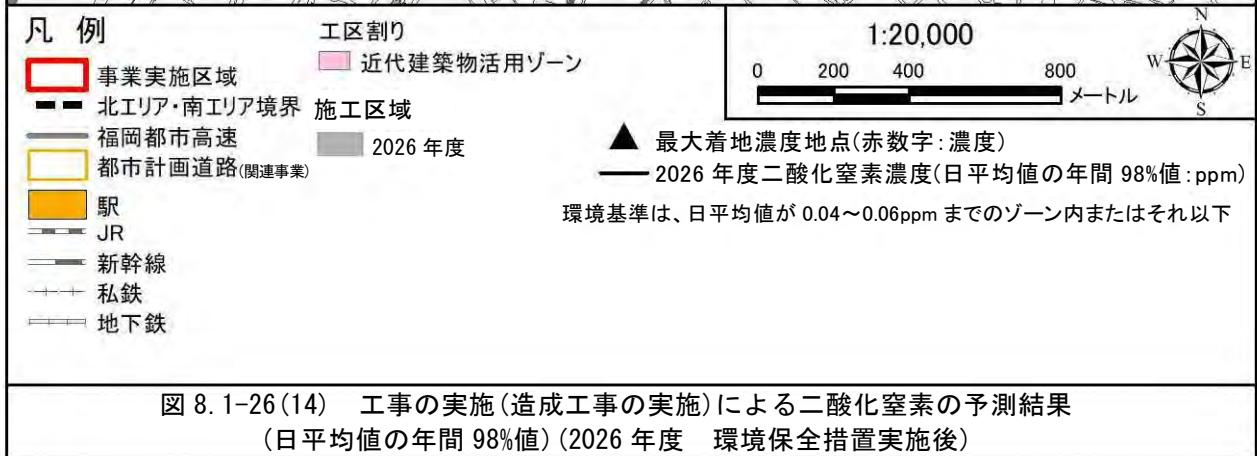
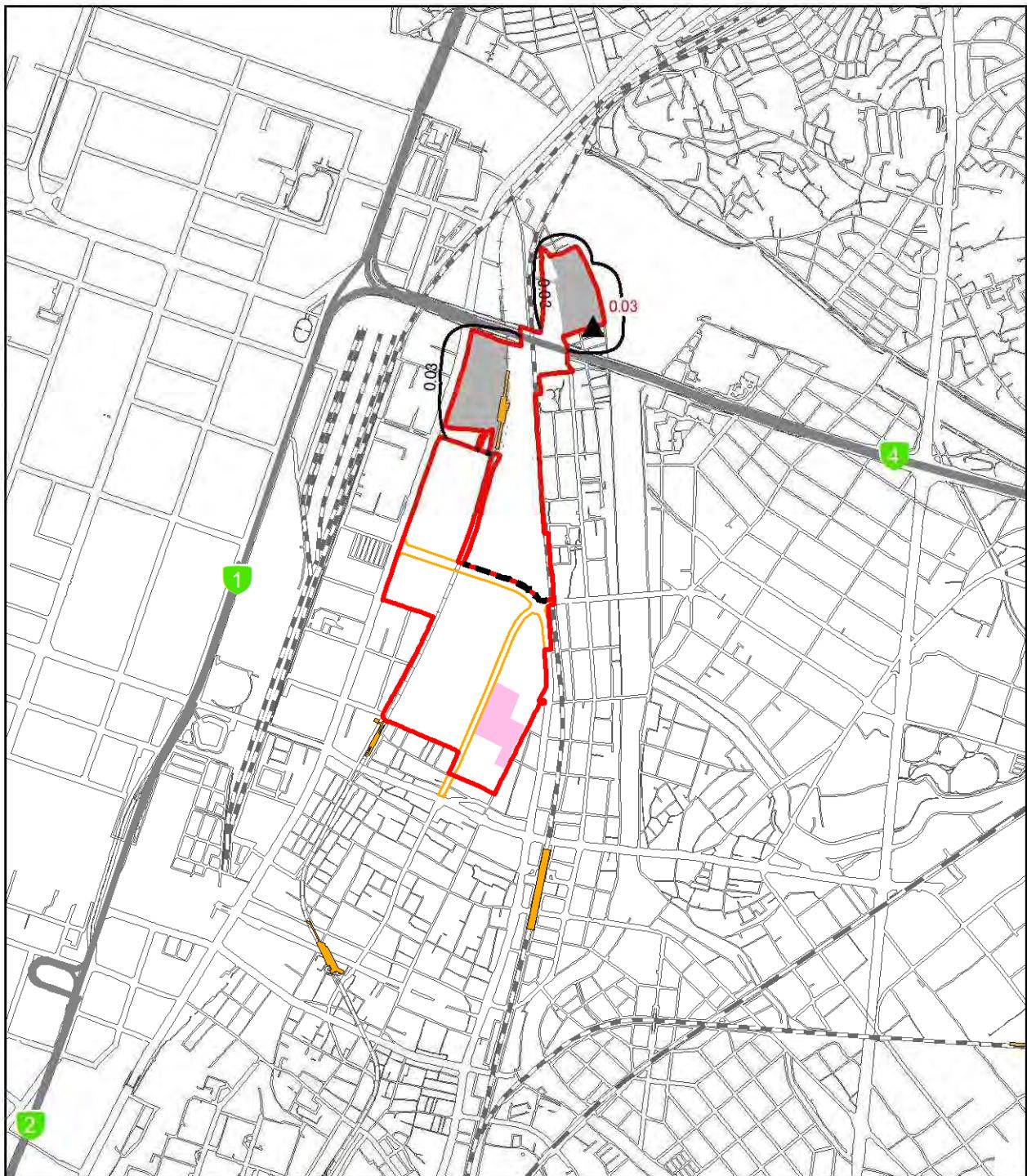
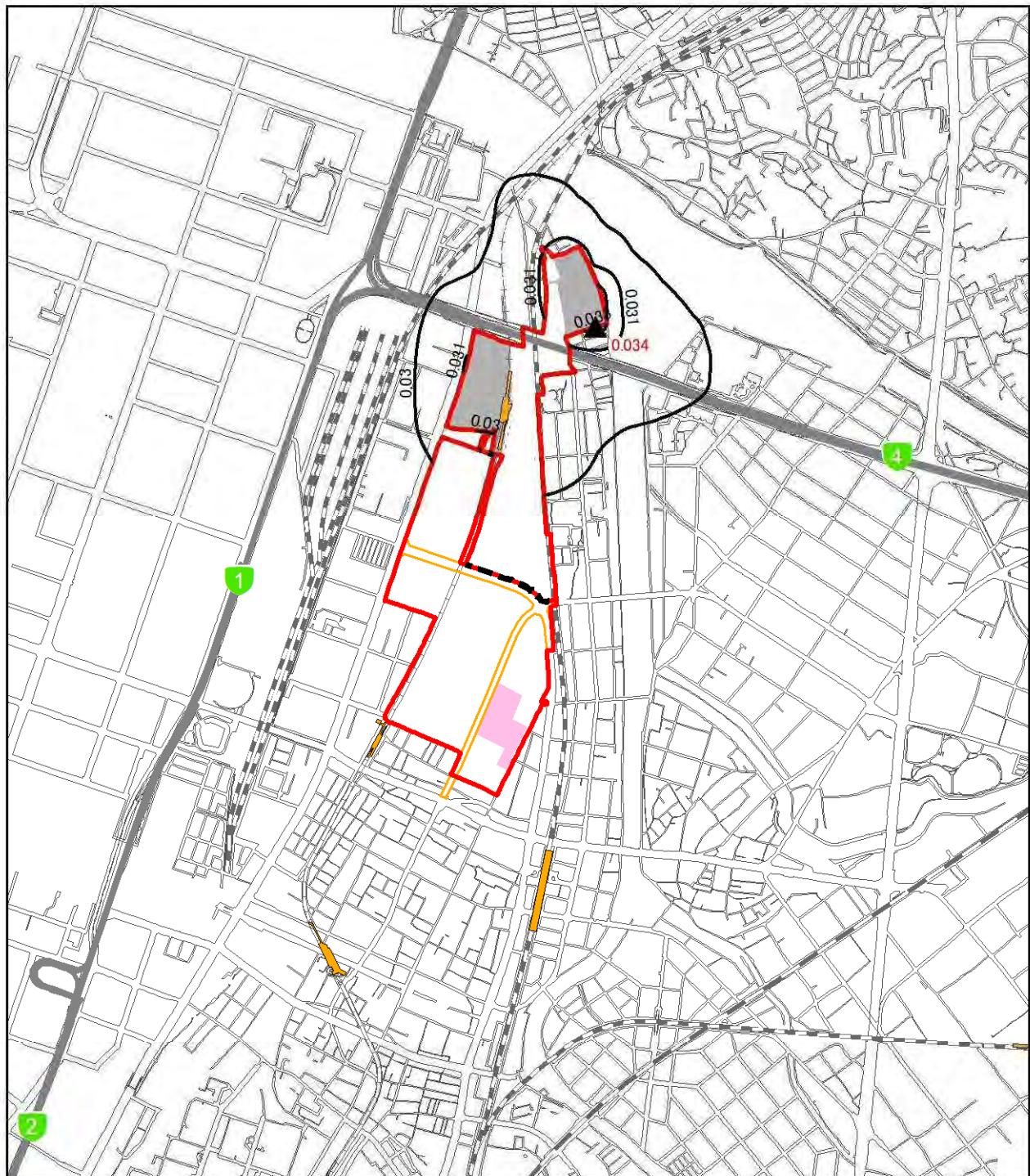


図 8.1-26(13) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間 98% 値)(2026 年度 環境保全措置実施前)





凡 例

■ 事業実施区域

— 北エリア・南エリア境界 施工区域

— 福岡都市高速

■ 都市計画道路(関連事業)

■ 駅

— JR

— 新幹線

— 私鉄

— 地下鉄

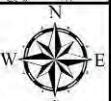
工区割り

■ 近代建築物活用ゾーン

■ 2027 年度

1:20,000

0 200 400 800 メートル

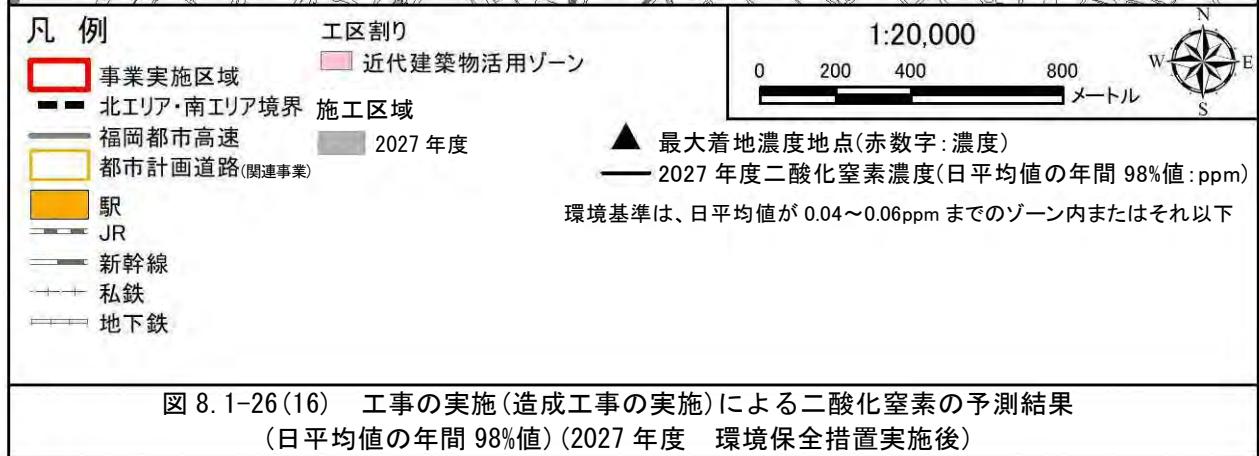
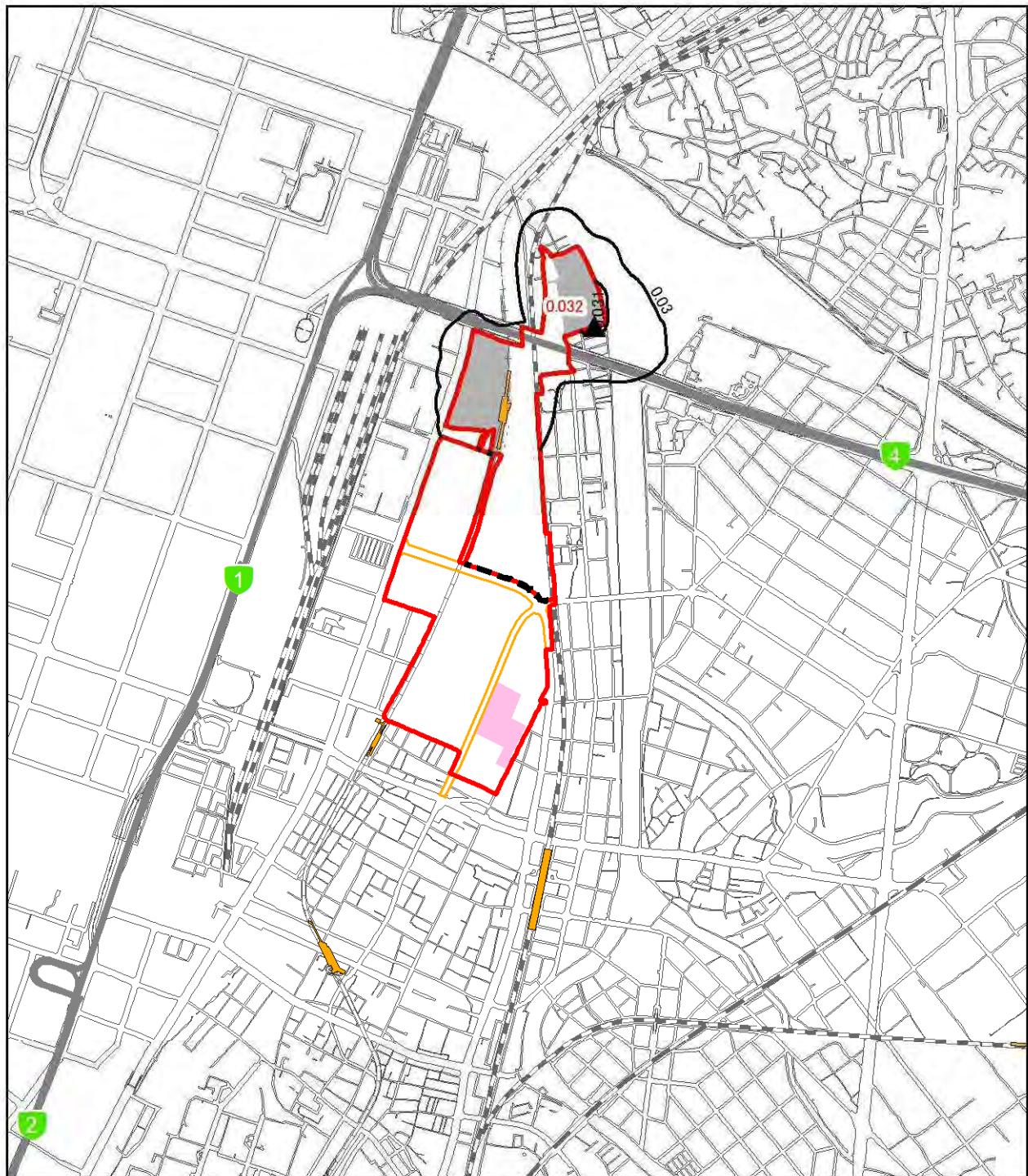


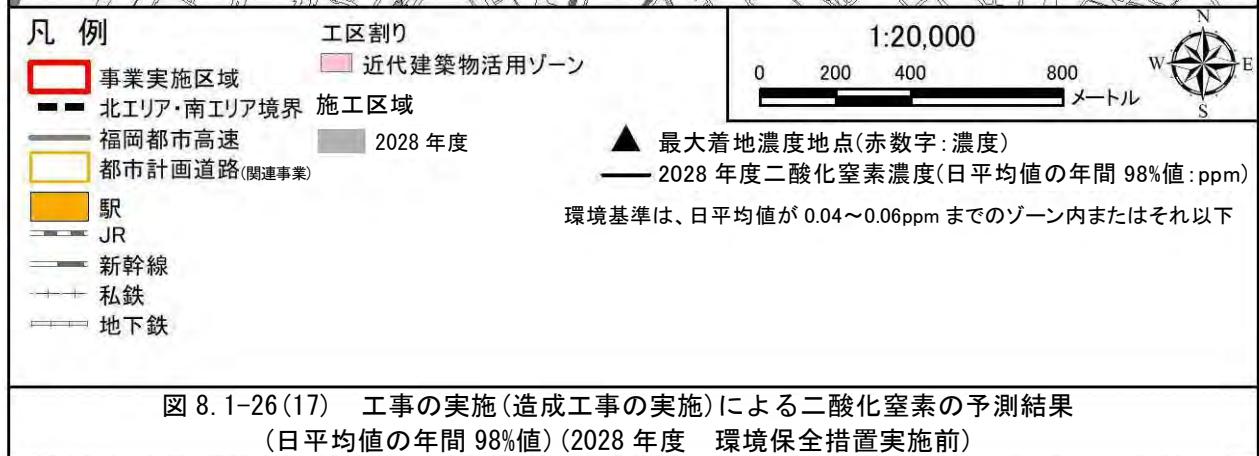
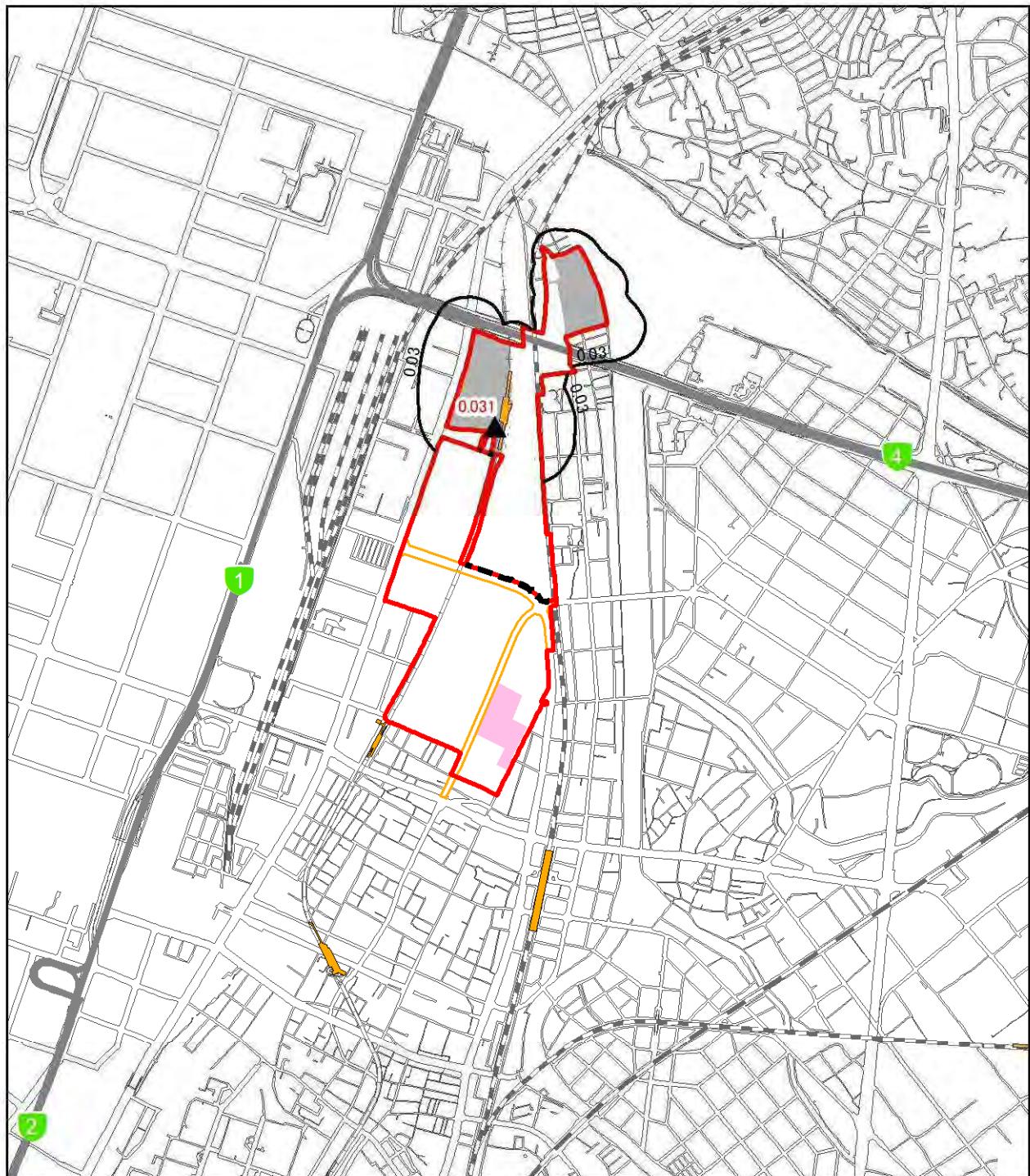
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)

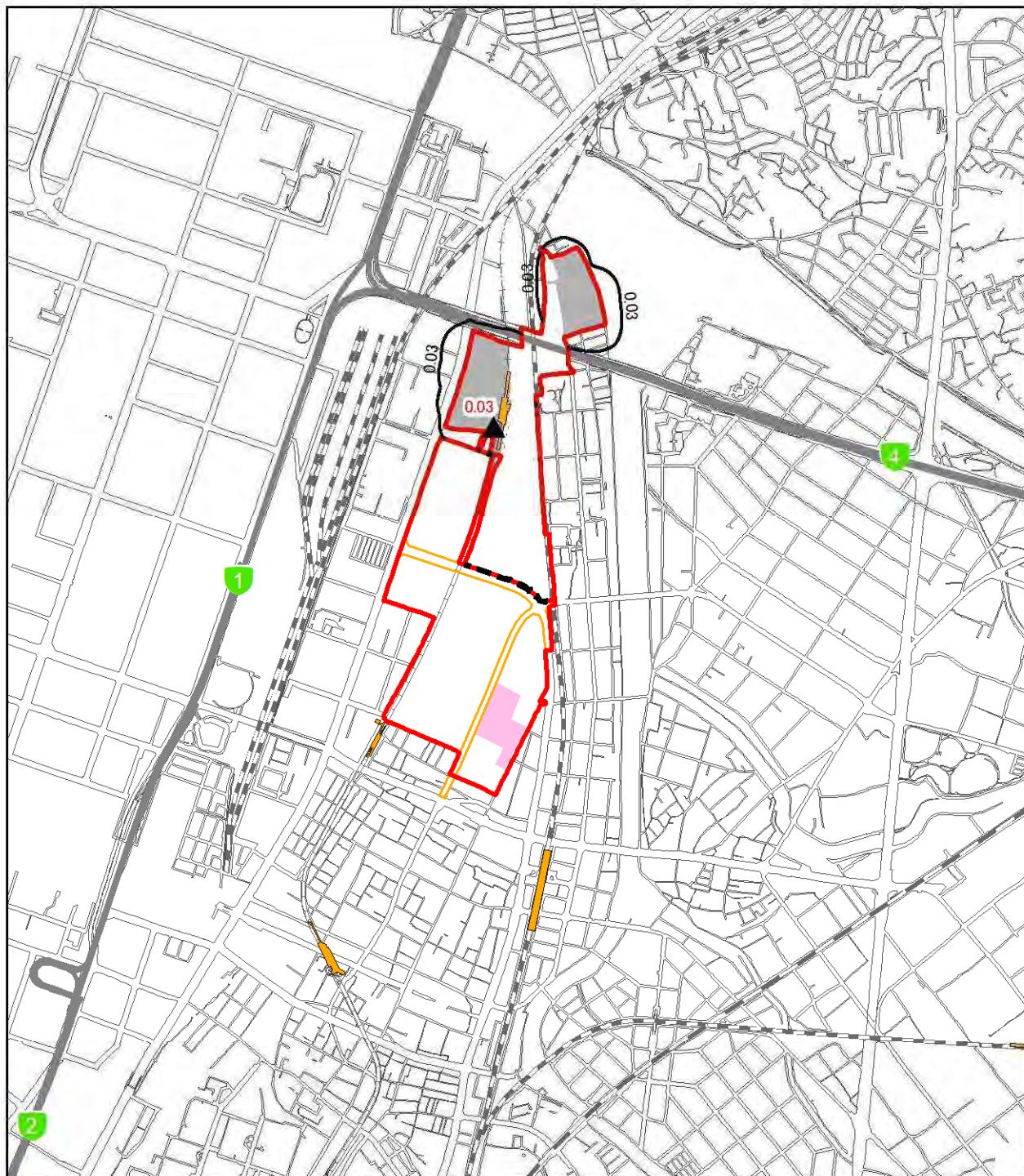
— 2027 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98% 値: ppm)

環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間 98% 値)(2027 年度 環境保全措置実施前)







凡 例

■ 事業実施区域

— 北エリア・南エリア境界 施工区域

— 福岡都市高速

□ 都市計画道路(関連事業)

■ 駅

— JR

— 新幹線

— 私鉄

— 地下鉄

工区割り

■ 近代建築物活用ゾーン

■ 2028 年度

1:20,000

0 200 400 800 メートル

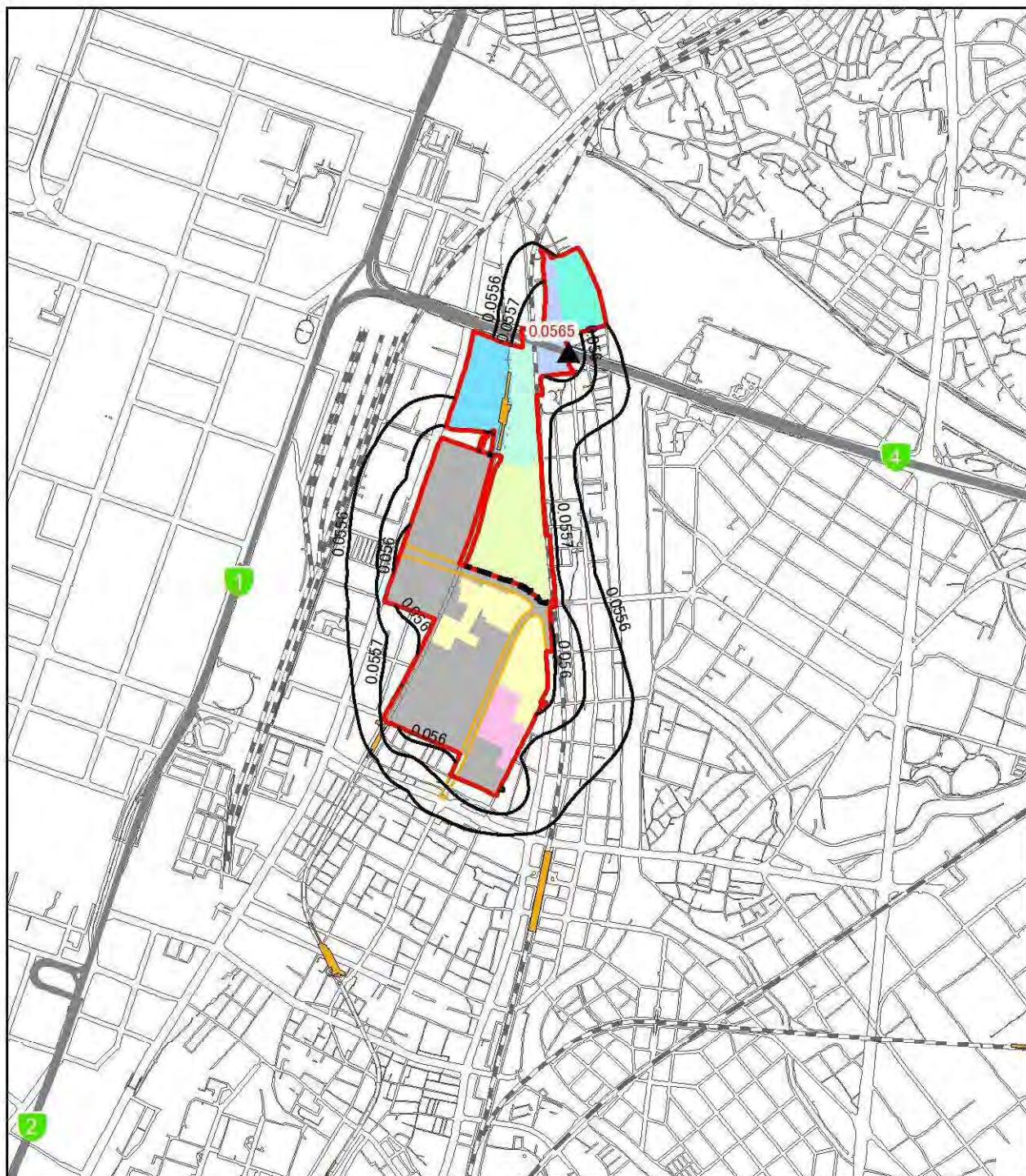


▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)

— 2028 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98% 値: ppm)

環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(18) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間 98% 値)(2028 年度 環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2020 年度

その他、北 1~3 工区、南 1~3 工区で関連事業実施中。

1:20,000

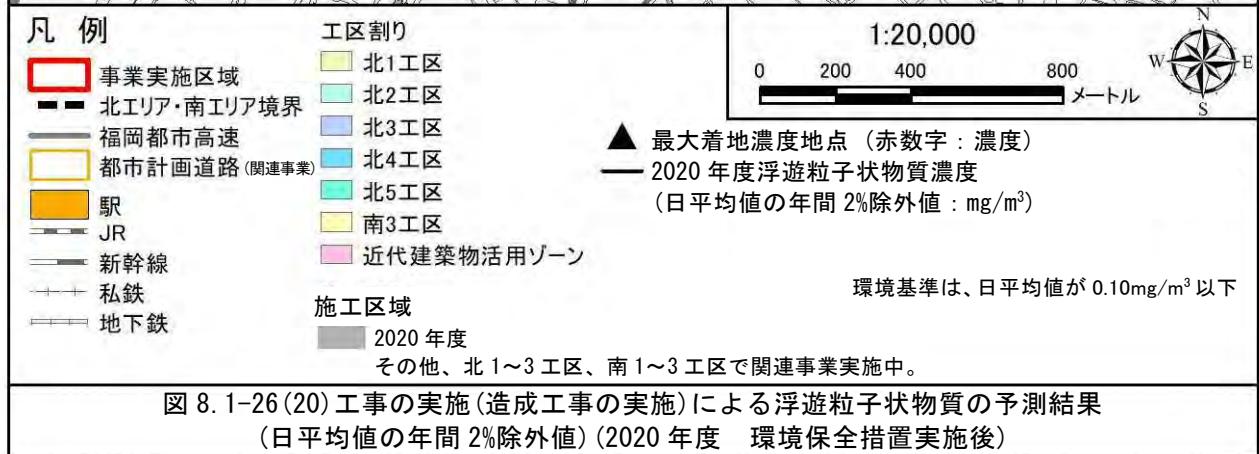
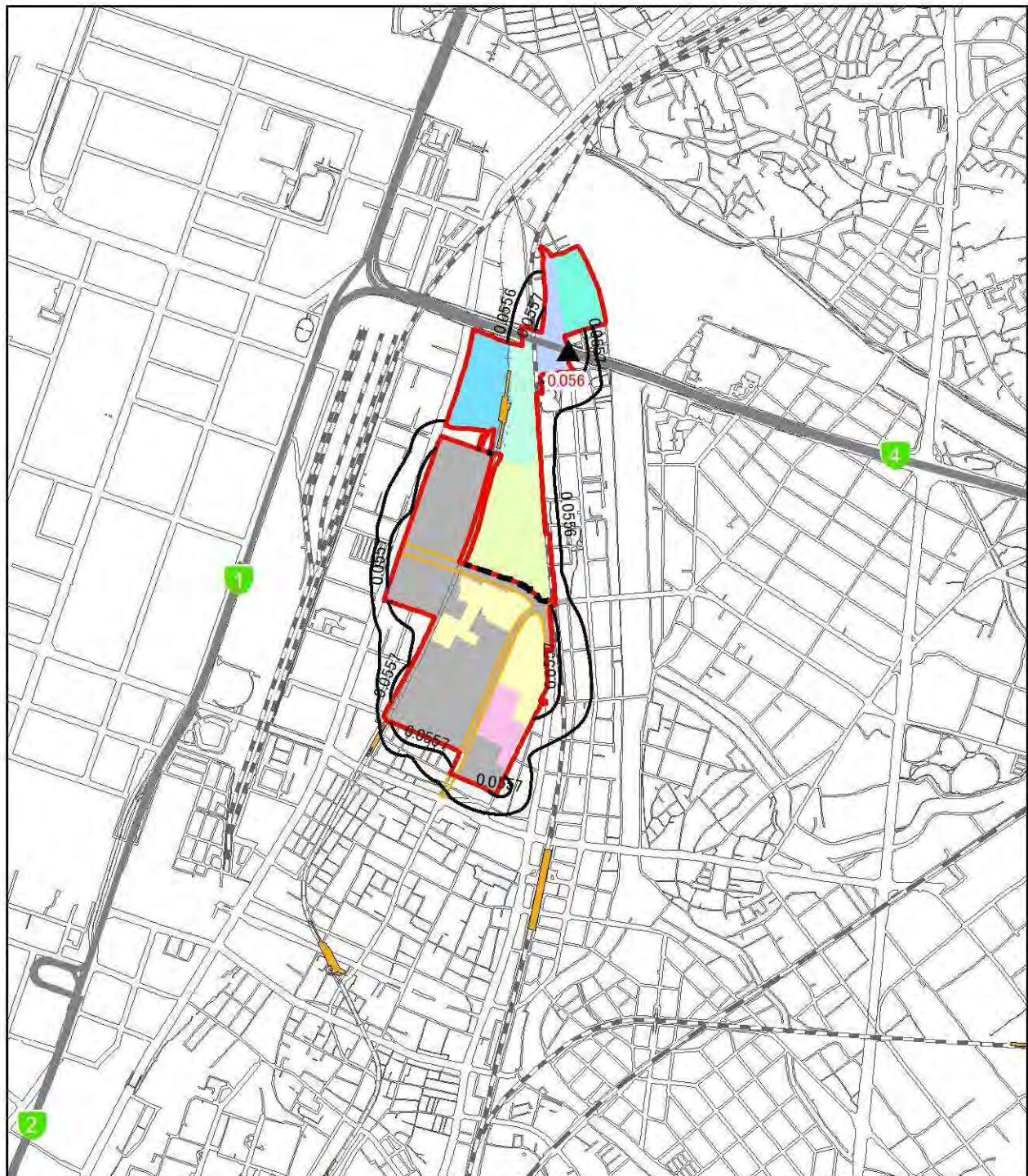
0 200 400 800 メートル

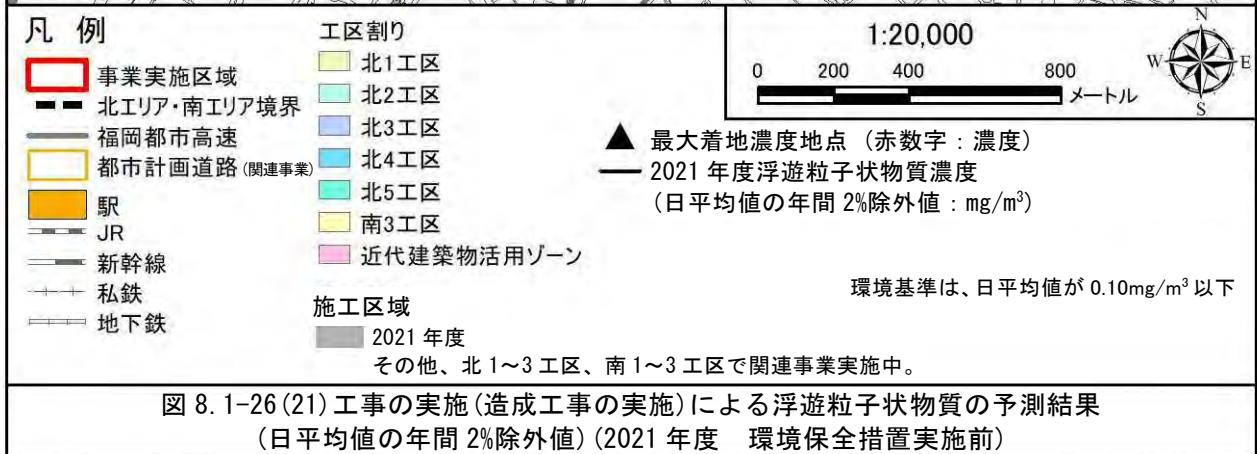
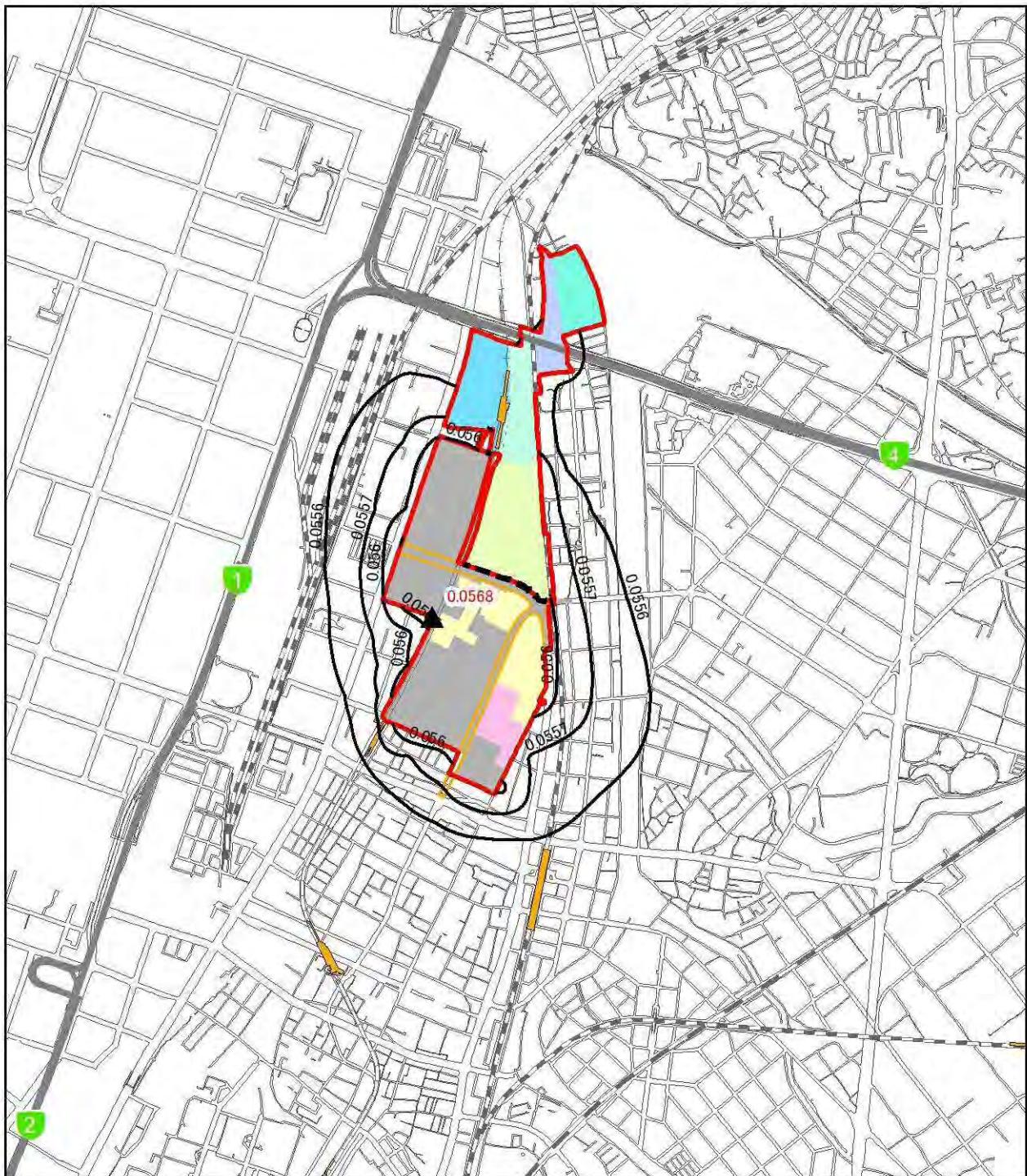
W E N S

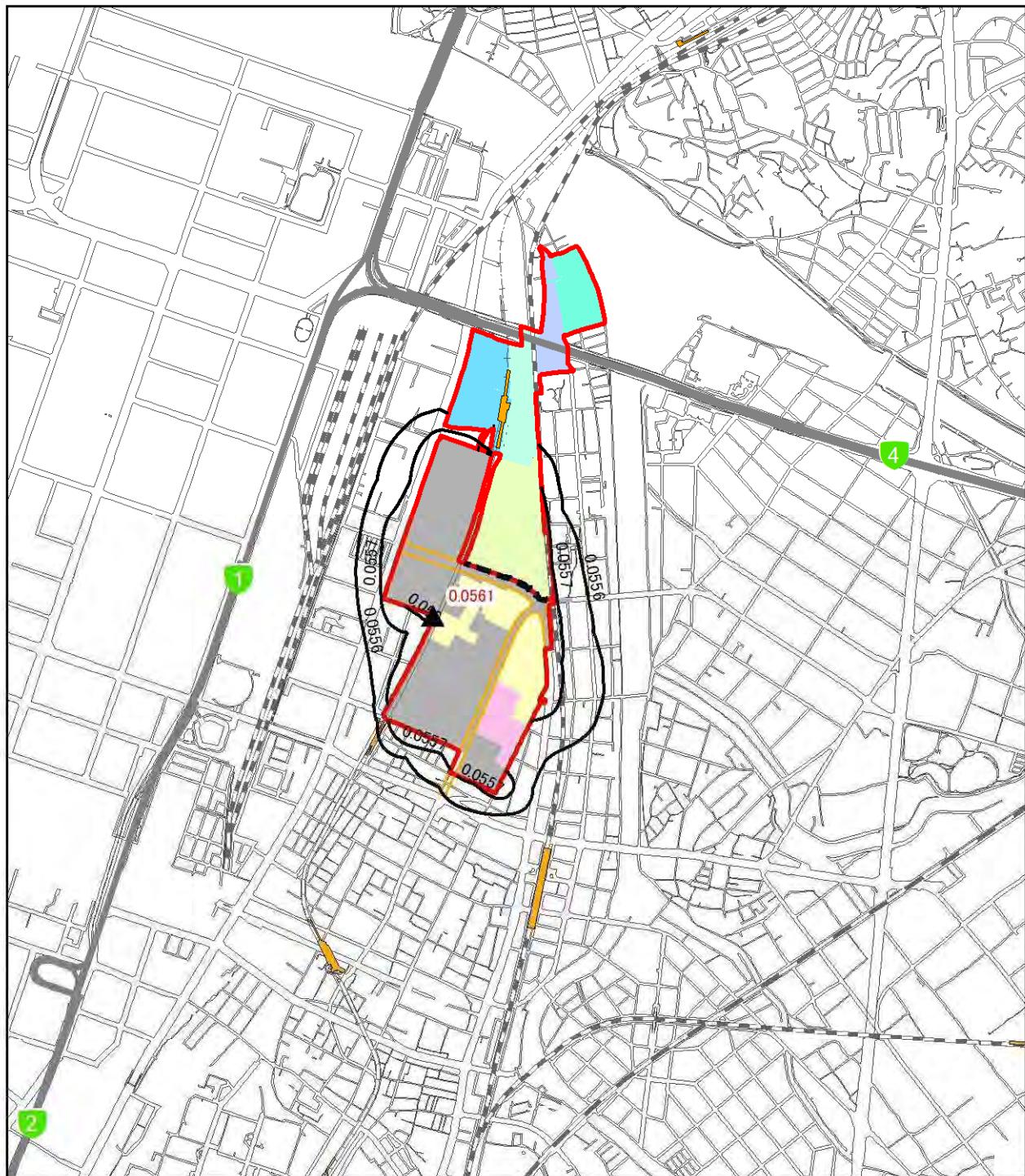
▲ 最大着地濃度地点 (赤数字 : 濃度)
— 2020 年度浮遊粒子状物質濃度
(日平均値の年間 2%除外値 : mg/m³)

環境基準は、日平均値が 0.10mg/m³ 以下

図 8.1-26(19) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
 (日平均値の年間 2%除外値)(2020 年度 環境保全措置実施前)

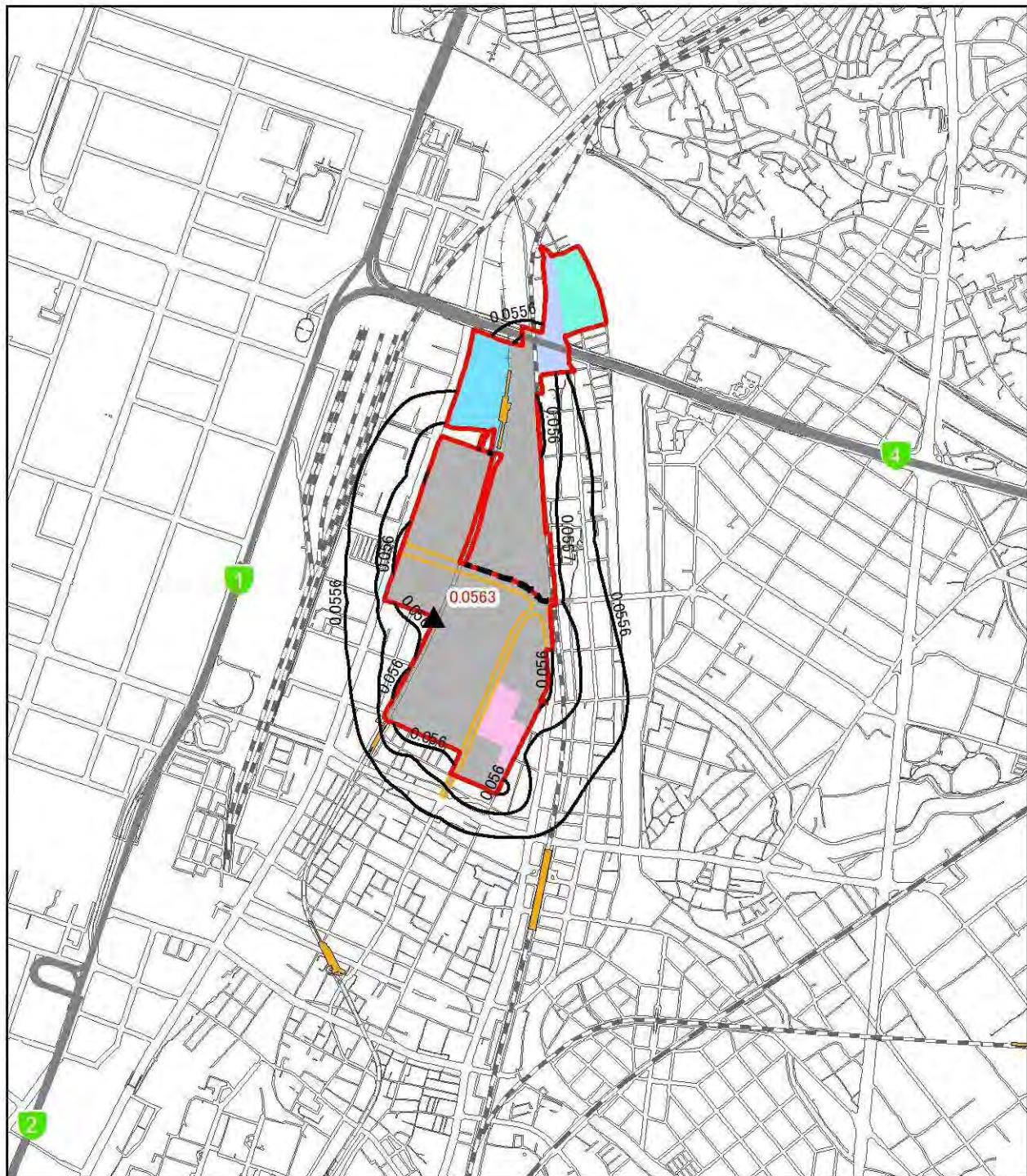




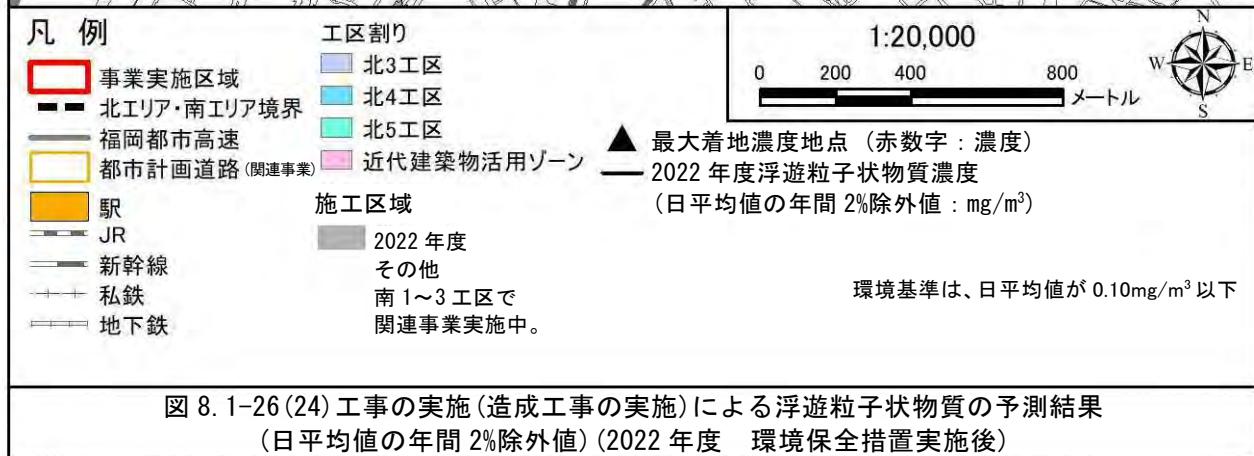
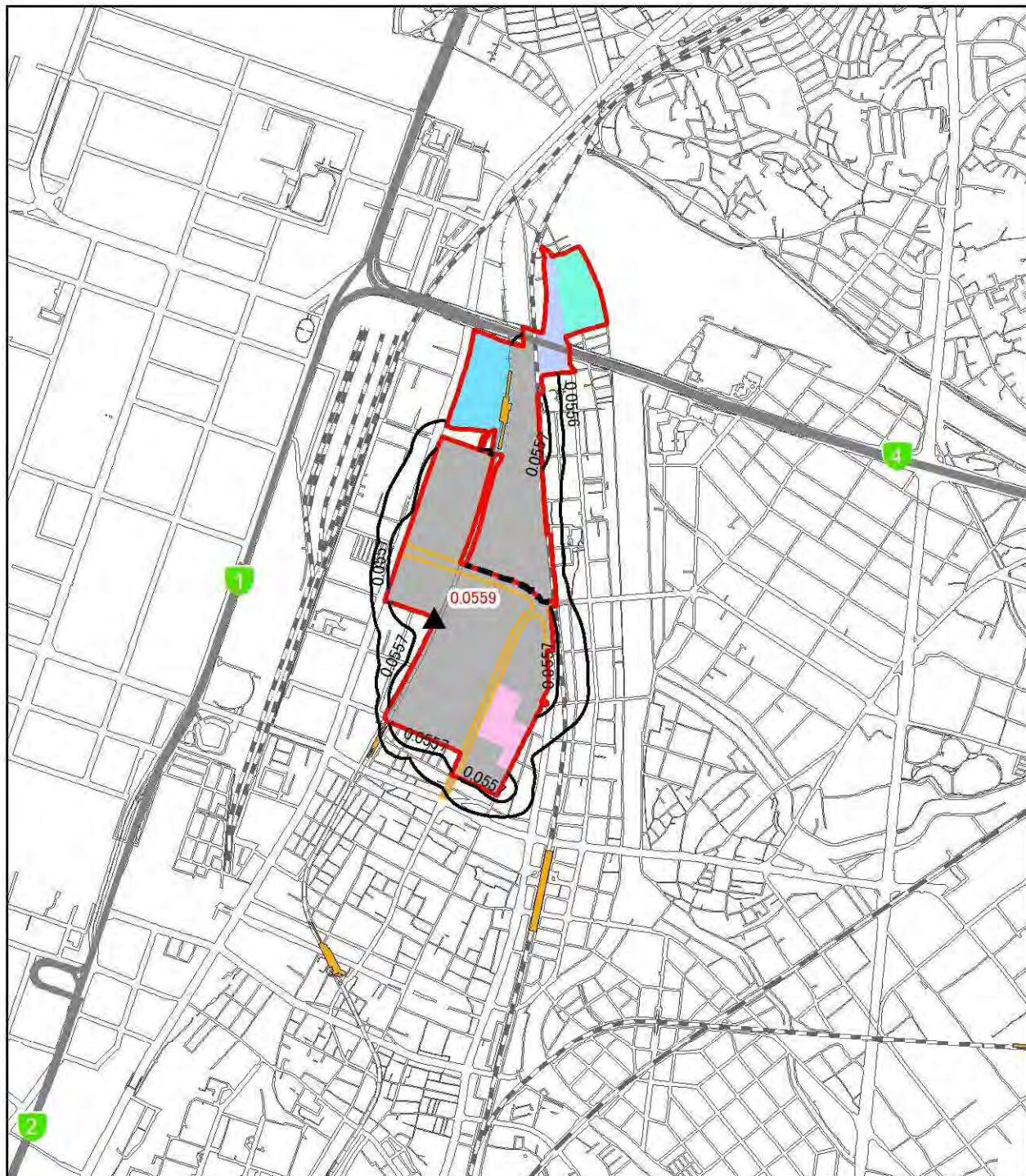


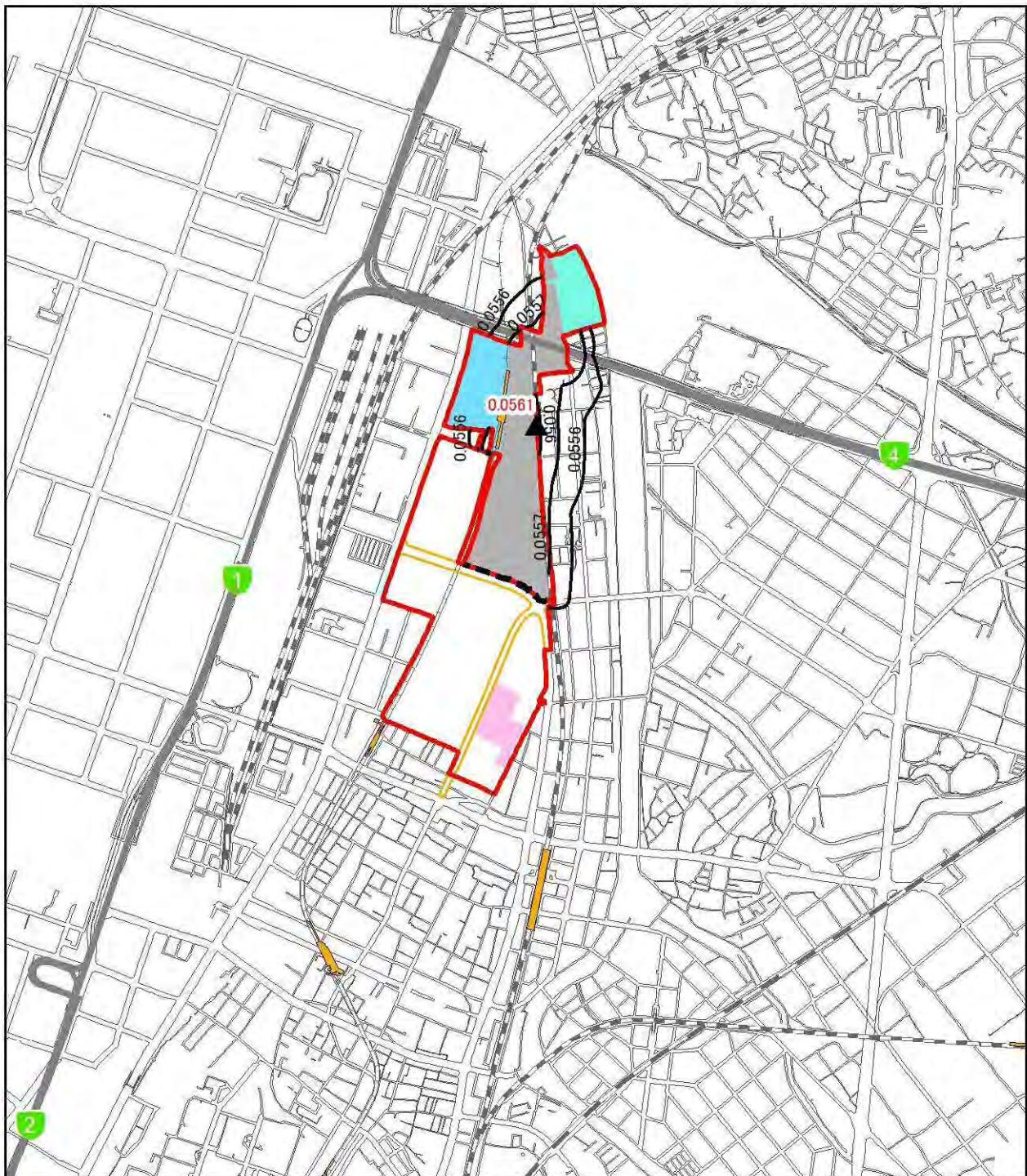
凡 例		工区割り	1:20,000					
■	事業実施区域	 北1工区	1:20,000					
	北エリア・南エリア境界	 北2工区	1:20,000					
	福岡都市高速	 北3工区	1:20,000					
■	都市計画道路(関連事業)	 北4工区	1:20,000					
	駅	 北5工区	1:20,000					
	JR	 南3工区	1:20,000					
	新幹線	 近代建築物活用ゾーン	1:20,000					
	私鉄		1:20,000					
	地下鉄		1:20,000					
施工区域		 2021 年度	1:20,000					
▲ 最大着地濃度地点 (赤数字 : 濃度) — 2021 年度浮遊粒子状物質濃度 (日平均値の年間 2%除外値 : mg/m ³)								
環境基準は、日平均値が 0.10mg/m ³ 以下								
その他、北 1~3 工区、南 1~3 工区で関連事業実施中。								

図 8.1-26 (22) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間 2%除外値)(2021 年度 環境保全措置実施後)



凡 例	工区割り	1:20,000
■ 事業実施区域	■ 北3工区	0 200 400 800 メートル
--- 北エリア・南エリア境界	■ 北4工区	
■ 福岡都市高速	■ 北5工区	
■ 都市計画道路(関連事業)	▲ 最大着地濃度地点 (赤数字 : 濃度)	
■ 駅	— 2022年度浮遊粒子状物質濃度	
■ JR	(日平均値の年間2%除外値 : mg/m ³)	
■ 新幹線		
■ 私鉄		
■ 地下鉄		
	■ 2022年度 その他 南1~3工区で 関連事業実施中。	
		環境基準は、日平均値が 0.10mg/m ³ 以下
図 8.1-26(23) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果		
(日平均値の年間2%除外値)(2022年度 環境保全措置実施前)		





凡 例

- 事業実施区域
- - 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)施工区域
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

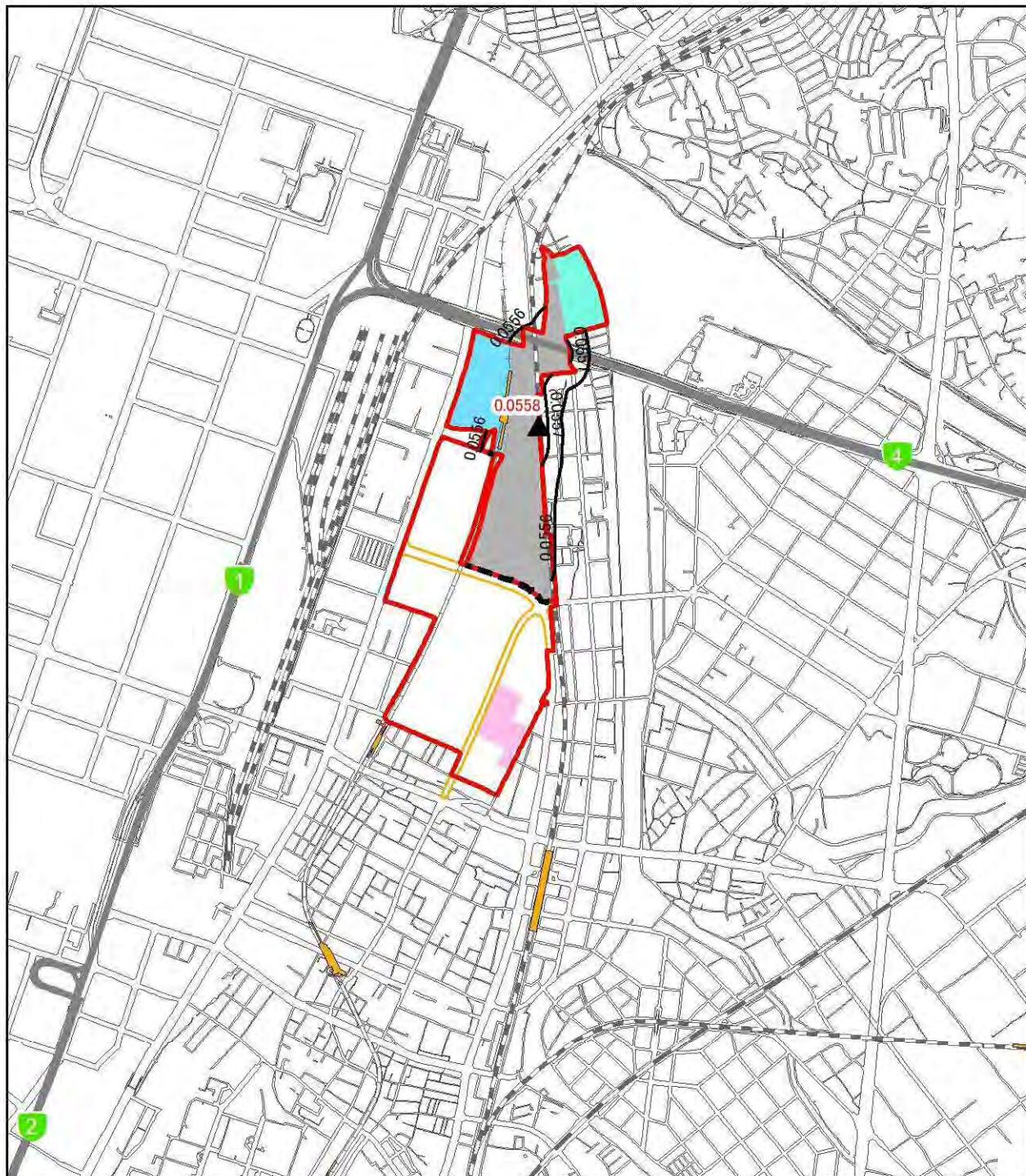
- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

■ 2023 年度

1:20,000
0 200 400 800 メートル
▲ 最大着地濃度地点 (赤数字 : 濃度)
— 2023 年度浮遊粒子状物質濃度
(日平均値の年間 2%除外値 : mg/m³)

環境基準は、日平均値が 0.10mg/m³ 以下

図 8.1-26(25) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間 2%除外値)(2023 年度 環境保全措置実施前)



凡 例

- 事業実施区域
- - 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)施工区域
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

■ 2023 年度

1:20,000

0 200 400 800 メートル



▲ 最大着地濃度地点 (赤数字 : 濃度)

— 2023 年度浮遊粒子状物質濃度
(日平均値の年間 2%除外値 : mg/m³)

環境基準は、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下

図 8.1-26(26) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間 2%除外値) (2023 年度 環境保全措置実施後)